

面接演習

〈新任 渉外課長：参加者への指示〉

この演習であなたは「れいわ銀行」埼玉中央支店の渉外課長の役割を担う。あなたは入社以来一貫して渉外畑を歩み、つい最近、静岡中央支店から埼玉中央支店へ転勤して来た。埼玉中央支店のあるさいたま市は、東京の新都心として中央官庁の地方の分局が移転してきており目覚ましい発展を遂げてきた。人口増加に伴い交通機関の整備と充実が進み、それにつれて商業・文化の興隆もあって、埼玉県政令指定都市として基盤を固めてきた。当支店は開設以来、県庁所在地である浦和区における信用と実績を着実に高めてきた。しかし、当支店の業績は全行レベルで見ると、まだ決して良いとはいえない。

あなたが当支店に着任した際、柿沼支店長から「消費税増税、世界規模の感染症の影響、地方の激甚災害が重なり、国内景気が停滞し続けており、当行としても一段と厳しい状況が続くであろう。君にはいろいろとやってもらいたいことはあるが、まずは行員一人一人が能力アップに努め、一致団結した行動が重要だと思う。私としては何とかして支店業績を高めたいと思っている。渉外課に期待することは、営業部隊が中心となって支店を盛り上げていく施策を練ってほしい。そのために君に来てもらった。君の手腕を大いに発揮してほしい。」と激励された。

あなたは、着任以来、部下のことをよく知るために、まず渉外課の行員と個人面接を行うことにした。今日面接する渉外課の主任2名のうちの1人である栗崎玲は、東京都大田区の大森支店から3年前に埼玉中央支店に転勤してきた。入行当初は融資課に配属され、大森支店から渉外担当になっている。当支店では、外向的な性格と発想がアイデアに富んでいてなかなか目立つ存在である。しかし、アイデアを出す反面、問題もないわけではない。全営業支店の取り組みである各課の主任が出席する「支店主任定例ミーティング」に最近は全く参加していないようである。前任の課長は成績優秀な栗崎のことはつい黙認していた。一方で、同僚たちからは「外回りの時間を利用して副業をやっているらしい」との噂が出ているらしい。しかし、本人は一向に気に留めていない風である。

渉外課長であるあなたは、現在テレワーク中の栗崎との話し合いの必要性を感じ、これから本人にテレビ会議に参加するように伝えてある。所用のため、この話し合いの時間は10分ほどしかとれないが、あなたは栗崎との話し合いで、以下のことに力点を置き、支店全体の活性化と業績向上をはかりたいと思っている。

○毎週金曜日の午後に行われている「主任定例ミーティング」にきちんと出席させる。

【演習の手順】

- (1) 演習の背景情報を読んで面接の準備をする。(10分)
- (2) 面接を実施する。テレビ会議システムで部下と面接する。(10分)

(次ページにつづく)

れいわ銀行の概要

○中堅の地方銀行 本店は東京都千代田区

○設立 : 昭和 23 年 4 月

○預金量 : 3 兆 8 千億円

○従業員数 : 2,900 人

○支店数 : 108 店舗

東京都全域、静岡県および関東圏を中心に中小企業、個人を顧客としている。企業の経営支援、資産形成、資産運用、税務相談など、顧客のビジネスや個人客のライフステージに合わせた金融サービスや情報が提供できる銀行を目指している。

○渉外課担当業務：担当地域の個人および法人の顧客に対し、総合的な金融知識と的確なコンサルティング営業を駆使し、顧客の将来を見据えた金融プランや金融サービスをご提供すること。

くりさきれい

栗崎玲のプロフィール

〔社 歴〕 入行 10 年目

〔プロフィール〕

- 明朗闊達で、顧客からも信頼されている。サッパリとした性格で、人に追随することが嫌いで、独立独歩の自分流のやり方で事を進める傾向がある。
- 学生時代からやっているテニスが得意で、現在、住んでいる町内のテニス同好会のコーチをしている。
- 前期の人事考課における上司の評価は《目標達成度》や《業績貢献度》の評価は高いが《柔軟性》《規律性》がやや低い。
- これまで一応順調に昇格してきた。来年は係長の昇格試験がある。
- 「起業集団・大田区ビズネット（通称^{オー}ネット）」の提案者。これは工作機械や自動車の部品を製造する下請け企業や IT 関連の中小企業が提携し、それぞれの技術を結集して新製品を独自に製造するビジネス活動である。栗崎が大森支店勤務時代に提唱し、結成の中心的役割を担って実現したものである。現在は、大森支店周辺の蒲田支店、平和島支店を巻き込み発展している。